

Takehiko Tomita Letter 2023 新年号

とみた武彦府政たより

2023年 新年号

人地域、
心をつないで



富田武彦事務所
〒546-0043
大阪市東住吉区駒川 2-1-41
TEL: 06-6709-5551
FAX: 06-6709-5505
URL: <http://www.hstomita.jp>
E-mail: support@hstomita.jp



大阪府議会議員

改革。そして成長。

大阪のさらなる 飛躍を目指して！

とみた 武彦

府政報告

- ◆ 太陽光発電設備の設置状況
- ◆ 大阪河内長野線の北伸区間の整備
- ◆ 大手前庁舎のセキュリティ強化
- ◆ 大阪 IR の実現

一般質問概要 (令和4年9月定例会 12月13日)

太陽光発電設備の設置状況について

Q 府内公立小中学校の太陽光発電設備及び蓄電池の設置状況は、併設が重要。

A 太陽光発電設備は 1,434 校中 513 校 (R3.5 月時点)、蓄電池は 1,442 校中 105 校 (H30.5 月時点) に設置。

要望 地域の防災機能強化の為、併設が進むようお願いする。

Q 今年7月におおさかカーボンニュートラル推進本部を設置。府有施設における太陽光発電設備の導入拡大の取組みは。

A 府有施設への導入には確実な CO2 削減効果があり、府民や事業者の意識・行動変容も促せる。採算性向上につながる国補助金の活用や、PPA モデル (発電事業者に屋根等を提供し、発電した電気を自ら利用) の検討、壁面に設置する次世代太陽光発電設備など最新動向を把握し推進してまいる。

要望 推進本部のリーダーシップのもと導入が加速することを期待する。

大阪河内長野線の北伸区間の整備

Q 大阪市東住吉区の矢田南部地域でのラスパ大阪の跡地開発や、松原市域の大阪河内長野線及び国道 309 号の沿道などでまちづくりが進むが、両地域を結ぶ橋となる大阪河内長野線の北伸整備を具体化させるべきではないか。

A 大阪河内長野線と森小路大和川線をつなぐことは、南部大阪と大阪都心部との連携強化・活性化に寄与。北伸区間は、現在実施中の将来交通量予測、整備効果とその影響、財政状況も踏まえ、松原市や大阪市との議論を進め、着手時期を見極める。

要望 北伸・橋の建設ニーズは非常に高い。早期実現を強くお願いする。

大手前庁舎のセキュリティ強化

Q 府庁では、都道府県では東京都に次ぐ2例目としてセキュリティ強化のため機械式ゲートを導入予定だが、世界的な経済情勢の悪化などが半導体供給網に影響し、その入札が不調になったと聞いた。今年度中に導入できるのか。

A 再度の入札で事業者が決定し、1月16日から導入開始予定。

要望 大阪・関西万博やIRの進展に伴い、海外要人の表敬訪問も増える。すべての庁舎利用者のさらなる安心安全の確保をお願いする。

大阪 IR の実現

Q IRは4月に国へ区域認定が申請された。国において審査を早く進め、次のステップに進むことが重要だが、大阪府・市の考えは。

A 必要な審査を速やかに進めてほしい。ポストコロナにおける大阪の再生・成長を確かなものとする、世界最高水準の成長型IRを実現させたい。

要望 結果がわからないとその後の展開にスムーズに移行できず、大阪だけでなく日本の経済的な損失。国は必要な審査を速やかに進めてほしい。

Q IRは、あらゆる来訪者が楽しめるリゾート施設で、地域への経済効果、給付金等の活用による市民サービス向上が見込めるが、「IR=カジノ」との誤解がまだあるのでは。

A 府民の理解を得ていくため、府民、経済団体、大学へのセミナー等を今後も継続する。イメージを正しく伝え、関心を深めるポスター・広報動画の展開や、整備計画をわかりやすく紹介する新パンフレットも作成予定。

要望 男性よりも女性がIRに反対しているとの世論調査結果もあり、女性にターゲットを絞った発信も効果的。本来の意義や効果を十分に理解してほしい。

